

楽チェックの物件の他PCでの稼働

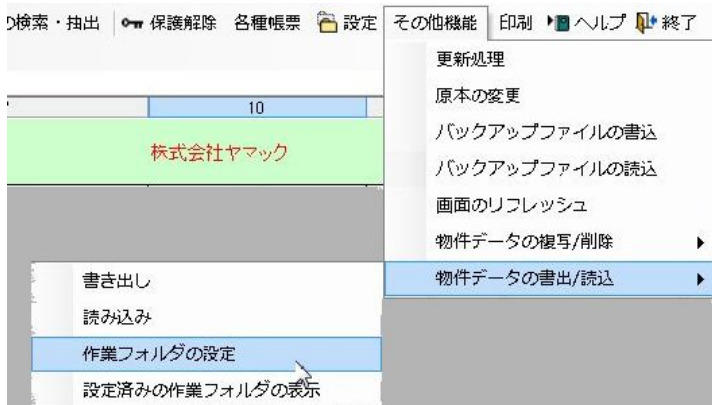
概要

ホストで楽チェックで作成した物件のファイルを楽チェックをインストールされた他PC（持ち出し用PCと呼ぶ）で稼働させる方法です。既存物件の点検先での印刷等に便利です。

【手順1】 あらかじめ保存用フォルダを作成しておく。例ではデスクトップに「楽チェック」というフォルダを作成。

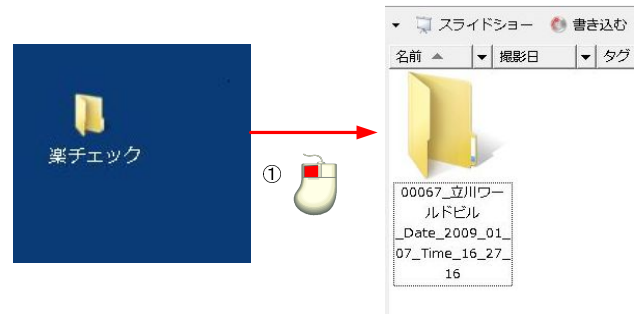
【手順2】 データベース画面で持ち出したい物件のINDEX番号にセルを置いておき、番号をメモしておく。

【手順3】 メニューの「その他機能」→「物件のデータ書出／読込」→「作業フォルダの設定」で、【手順1】で設定したフォルダ「楽チェック」を指定する。



【手順4】 同じメニューで「書き出し」を押す。

【手順1】で作成したフォルダの中に該当フォルダが作成されているのを確認する。



【手順5】

該当フォルダを他PCのUSBメモリやLANを使って任意の場所にコピーする。

【手順6】

持ち出し用PCで楽チェックを起動して、データベース画面を表示させて、メニュー→「保護解除」後INDEXの欄に【手順2】でメモした数字を0を除いて入力する。

例) 00069 の場合、69（図1）と入力し、Enterを押すと図2のようになる。

消防設備点検票作成支援ソフト			
INDEX	物件番号	点検予定日	点検実施日
69			

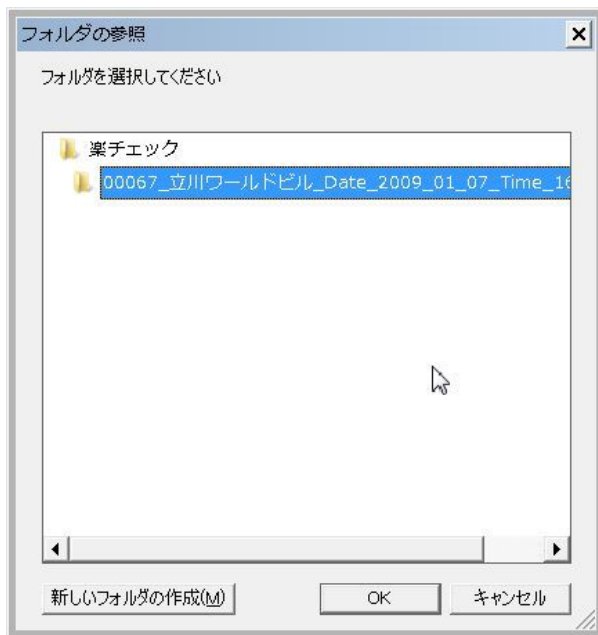
図1

消防設備点検票作成支援ソフト			
INDEX	物件番号	点検予定日	点検実施日
00069			

図2

【手順7】

メニューの「その他機能」→「物件のデータ書出／読込」→「読み込み」を選択すると、下記のデータの場所を聞いてくる画面となるので、書き出されたフォルダ選択して、OKを押す。


【手順8】

以下、【手順6】の図2のINDEX番号をダブルクリックすると既存画面が立ち上がる。

【手順9】 ホストに持ち出し用PCで編集した物件データを戻すには逆に【手順3】から持ち出し用PCで実行する。ただし、【手順6】は不要。

以上